

渡航報告 ～タイ・台湾～

W22-0228A 森 安友菜

●タイ

○期間 2012年7月31日～8月5日（6日間）

○費用 約9万円 + お小遣い3万円

○レート 1B(バーツ)=約2.7円

○時差 -2時間

○スケジュール

1日目 バンコク泊	AM11:50 出発（成田） PM5:00(現地時間) 到着（バンコクスワンナプーム） PM7:00 ホテル周辺の夜市を散策・夕食
2日目 バンコク泊	PM12:00 アユタヤ遺跡巡り PM6:00 サイアムで買い物 PM8:00 レディボーイショー PM10:00 女子力を根こそぎ吸われホテルへ
3日目 バンコク泊	AM11:00 サイアム周辺のマーケットを散策 PM3:00 大型スーパーマーケットで買い物 PM6:00 オンヌット(バンコク郊外のエリア)の夜市へ
4日目 チェンマイ泊	AM9:20 チェンマイへ出発（スワンナプーム） AM10:40 チェンマイ到着（チェンマイ国際空港） PM1:00 ドイ・ステーブ（山頂にある寺院）へ PM3:00 チェンマイ市内をサイクリング、転倒 PM7:00 夜市で夕食・買い物
5日目 空港泊	AM10:00 エレファントショー、象使いがイケメン PM12:00 首長族の村へ PM2:00 タイ古式マッサージ、おばさんが細すぎ PM9:00 バンコクへ（チェンマイ国際空港） PM10:20 バンコク到着（スワンナプーム）
6日目	AM2:00 成田へ出発 AM10:00（日本時間）成田到着



○感想

タイはチップ制で、自分の思った以上にチップによってお小遣いが減っていった。チップは非公式な経済活動である為、この国のチップだけでどれだけのお金が動いているのだろうと感じた。この旅で、タイの人々からたくさんの元気を分け与えてもらった。特にレディボーイショーでは、彼女(彼)らは本来男性であることを忘れるくらいとても美しく、「綺麗になりたい」という気持ちがあれば性別は関係無いのだと感じた。敢えて残念な点を挙げるとしたら、全日程のうち2日間はタイ全土における禁酒日だったことだ。(笑)

●台湾

- 期間 9月10日～9月12日（3日間）
- 費用 約3万5千円 + お小遣い2万円
- レート 1NT\$ (ニュー台湾ドル)=約 2.7円
- 時差 -1時間
- スケジュール



1日目 台北泊	<p>AM7:15 出発（羽田）</p> <p>AM10:15（現地時間）台北到着（松山）</p> <p>PM12:00 MRT(地下鉄)の旅・絶品牛肉麵に会う（昼食）</p> <p>PM3:00 羽田空港で前泊だった為、ホテルに戻り爆睡</p> <p>PM7:00 夜市を散策、大敵「臭豆腐」との出会い</p>
2日目 台北泊	<p>AM10:00 九份へ出発、台湾の人々の優しさに触れる</p> <p>PM12:30 九份到着</p> <p>PM1:00 本格的なお茶を体験</p> <p>PM6:00 夕暮れ時の湯婆婆の館を眺める</p> <p>PM8:30 スーパーマーケットで買い物</p> <p>PM9:30 怪しげな焼肉食べ放題店へ</p>
3日目	<p>AM9:00 朝市を散策</p> <p>PM12:00 大型雑貨店（台湾版ドンキの店）で買い物</p> <p>PM2:00 最後の食事（牛肉麵、酸辣湯、水餃子、タピオカを愛でるように完食）</p> <p>PM7:30 羽田へ出発（松山）</p> <p>AM12:00（日本時間）羽田到着</p>

○感想

台湾は、渡航前に自分が想像していたイメージよりもきれいな街だった。MRTも日本の東京メトロのように路線ごとに色分けされていて、suicaのようなチャージ式ICカードもあり、使いやすさは東京とほぼ変わらなかった。道が分からず困っていると、必ずと言っていいほど地元の人がわざわざ案内してくれ、その優しさに感動した。年間を通して晴れの日が30日前後である九份では、天候に恵まれ終日快晴だった。3日間という短い時間ではあったが、台湾の活気溢れる雰囲気と人々の温かさを存分に味わえた旅だった。